



# 小中学校にオーガニック給食の導入を

佐藤 旭浩 議員

オーガニック食材の費用を確保したい  
教育部長



▲学校給食の様子（市江小学校）

**問** 学校給食の保護者負担額と本市からの補助金は、食材・食品をどのようにに選定しているか。  
学校給食の無償化について今後の展開は。

**答** 本市の学校給食の保護者負担額は、小学校が月額4300円（一人一食260円）、中学校が月額5千円（一人一食300円）。市は一人一食10円を補助。給食の使用食材は献立委員会及び物資選定委員会で決定している。  
9月議会において学校

給食の無償化期間を12月まで延長し、令和5年3月までは給食費の保護者負担を据え置くための補正予算を計上している。

**問** 現在、\*オーガニック給食を行っているか。

**答** 本市の学校給食において、オーガニック食材は安定調達面、調達価格面から現在導入していない。

**問** オーガニック給食を近隣の自治体で取り組んでいるところはあるか。

**答** あま市は有機栽培によるニンジンの使用、稲沢市は有機栽培によるバナナを使用した例がある。

**問** 有機栽培に限らず地産地消の食材による学校給食の実施について、どのような食材を検討しているか。

**答** キャベツ、大根、キュウリ、ホウレンソウ、コマツナ、トウガン、イチゴ、レンコンなどを旬の時期を中心に使用している。

特産のレンコンは年間通して数多くの献立で使用し、地産地消の意識を高めている。

**問** オーガニック給食の導入の検討はできないか。  
**答** 食材の価格、供給の状況を確認し、オーガニック食材使用に向けた食料費を確保したい。

**問** 本市の特産のレンコンを使用したオーガニック給食導入の検討は

**答** 食材の量の確保、価格について確認し、可能な範囲で導入を進めたい。

\*オーガニック給食  
有機栽培の食材を使用した給食

**問** みどりの食料システム戦略について本市の考えは。  
**答** 今後の様々な施策の動向を把握しながら学校給食の使用についても検討を進めたいと考える。